

# 名経大通信

第5号

2003年2月28日

名古屋経済大学

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/>

## CONTENTS

Top News

P1.2 新しい法学部法学科とは  
法学部長に聞く

Local

P3 犬山市消費生活展に積極参加  
第1回いちむらっこまつり

Lecture

P4 田中収教授の最終講義「私の思想史」

Special topics

P5.6 情報センター開設から2年  
教員と学生のHP体験

People

P7 「歴史を知ろう」OB岩村さん

Employment

P8 資格取得支援を活用しよう  
自宅で見られる「求人票」

Club seminar

P9 バスケットボール部男子チーム  
児童文化研究会

Extension

P10 わが町、高森山のドングリ作戦  
青少年と情報社会の講演

P11

八百津高校から見学訪問  
心理学の公開講演会





# 四月から「法学部法学科」へ生まれ変わります

平成十五年四月から、法学部は改組され「法学部法学科」としてスタートします。新入生を迎えるにあたって、法学部の新美治一学部長に抱負をお聞きしました。

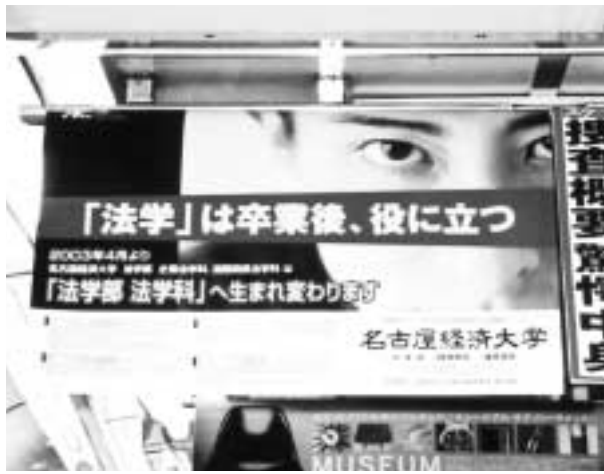
## 今、なぜ変革するのか

新入生を迎える今のお気持ちは大変なものでしょうか。

幸い、受験生にも新法学科の内容が評価されているようでほっとする一方、すごく緊張しています。入学してくる学生の期待に応えるために、今しておかなければならないこと、補正できることなど考えることはいっぱいあります。

一般的に、法学部は、勉強してみたい学部ではありませんが難しいという思いがあります。

たしかに最初の段階では難しいかもしれませんが、一山



越えると、他の領域よりも勉強しやすいし、結果としてものになりやすい。最初のスタートでがんばることが肝心です。

最近では、法律に関するテレビ番組やコミック、法律知識をいかに駆使するかのノウハウもまで、法律に関する話題はまことに華やかです。

市民が権利意識を持ち始めている、という証拠でしょう。法学に携わっているものとしては、うれしい限りです。ところで、社会には、数え切れないほどの



法律問題が日々刻々と再生産されています。特定の事例を知っているのは知らないよりいいに決まっています。けれど、ただはいくら記憶力のいい人でも

生ずる事件に対応できません。法学部で学ぶよりも重要なことは、ぶつかる問題が「法律問題かどうか」ということを見極める素養、基礎的な知識、判断力を身につけることです。生じている問題が「法律問題になるのかどうか」を判断するためには、徹底的に事実を解明する方法論とそれに関する知識が求められます。そのためには、社会的な常識から社会現象を分析する力、そして一般的な言い方をすれば法的素養が必要です。法律問題として扱うのであれば「どの

法律を用いるのか」の判断が問われることにもなります。新法学科が例外なしにすべての学生に求めている、法的素養、基礎的な知識、判断力とはこのようなことを意味しています。

カリキュラムでは、四つの履修コースがあり、法律のプロの養成が大切にされていますね。

法学部法学科は、教養法学と高度な専門的法学を組み合わせ、卒業時まで特定の分野のプロを育て上げることを目的にしています。今までの「企業法学科」・「国際関係法学科」というユニークなプロを育てる分野は大切にしながら、時代が求める公務員養成の分野とロー・スクールへの進学を目指す学生を徹底的に教育する「司法準備教育」の分野を設けました。

現代の企業社会は、法抜きでは考えられませんね。

雪印乳業、日本ハムの事件といい、つい先ごろの愛知ヨークの事件といい、今までは不問にされていたようなことがらが、次々とあられ、社会的にも糾弾されています。また、公害では企業の社

会的責任が問われますし、企業合併やリストラや、本当に企業は法抜きには一日たりともやっていけない時代です。企業法学は、もう少し狭い範囲の問題を扱うのが本来の役割ですが、文字通り幅広い「企業法学」の出番です。

## 学生の可能性を引き出し、将来を保障

法学部は、中国やアジア諸国との交流も大事にされていますね。

アジアは、二十一世紀を迎え激動の時代に入りました。日本に依存していたアジア諸国に、日本が依存しなければならぬ時代になるような状況です。とりわけ、中国は天をもつく勢いで発展しています。国際関係が発展すればするほど、関係も複雑になり、国際的な取り決めで問題が処理されます。外国語（英語と中国語）ができ、法律関係の問題も処理できる。鬼に金棒です。将来を見据え、前向きに中国などの学生も受け入れ、国際人の養成に力を入れたいですね。

法学部に入学する相当数の学生が公務員を志望していますね。そうですね。今までもそうでした

から、この改革で思い切って「行政政策（公務員養成）コース」を設定しました。公務員になるためには、難関の公務員試験を突破しなければなりません。それには、幅広い教養と的確な判断力、そして法学的素養が不可欠です。一年次から、瞬時を惜しみ勉強することが求められます。

司法試験合格は、法学部学生の憧れですが、その体制は？

司法改革の一環として、「ロー・スクール」が二〇〇四年春から発足します。本学は、日本のいくつかの大学に設置されるこの「ロー・スクール」へ進学を希望する学生の特別コース（司法コース）

### めいけい点描

名古屋経済大学は「犬山市内久保」にあり、深い木立と小鳥のさえずりに心が和みます。名高い小牧・長久手の戦い（天正十二年「一五八四年」）では、このあたりが秀吉軍の陣地となりました。「内久保砦（とりで）」

を設け、万全の体制で臨みます。本学の少人数教育の本領を発揮して、希望者全員をいずれかの「ロー・スクール」に入学させたい、と私たちは意気込んでいます。

確かに、法学部の先生方の意気込みはすごいと、ひしひしと感じます。

自分たちの責任で新しい「法学科」をつくった以上、入学してくる学生の期待には応えなければなりません。いまや、一人ひとりの教員が、在学生を含め、学生の期待にどう応えるか、学生の可能性をどう引き出すか、彼らの将来をどう保障するかという課題に真剣に取り組んでいます。

として史料に記されています。

織田・徳川連合軍と対峙した秀吉軍は、楽田城（現在の楽田小学校の場所）を中心にして九力所に前線基地をつくり、その一つが内久保砦でした。蜂屋頼隆、金森長近の両将が腰を下ろして指揮をとったのは、本館の学長室あたりでしょうが？

内久保砦の兵の数は三千五百と記録されていますが、とすると、本学の学生と教職員を加えた人数

### 名古屋経済大学 履修懇談会のご案内

とき 三月十五日(土) ところ 本学

対象者 大学より文書で保証人宛に通知をいたします。短期大学の在学学生は対象となりません。

この懇談会では、指導教員、学生本人、保証人の三者により、学業成績単位取得状況を確認していただき、今後の授業への取り組み方や日常生活の過ごし方等について話し合ってください。大学をよく知っていただくよい機会と考えておりますので、ご出席いただきますようお願いいたします。

とほぼ匹敵します。

つわものどもが夢の跡。ただ、ここで戦火を交えることはなく、大合戦とならずに和睦しました。丹羽長秀が約三千の兵を率いた「外久保砦」の方には砦の跡を示す石碑と案内板が立てられています。田県神社前駅の東、こもりと見える高台です。

## 犬山市消費生活展で活発な実演、実習

平成十四年十二月一日、本学から車で五分とかならないところにある 楽田ふれあいセンターしりやま において第二十八回犬山市消費生活展が開催されました。今回の消費生活展のテーマは「未来のためにできること。今の暮らしの見直しを！」であり、本学からも地域交流の一環としてこのテーマに沿うような六つの企画を立て参加しました。

ほう（食生活診断）（商経科）と「骨密度測定」（生活文化学科）を、陶芸美術コーナーに「古いワイシャツを用いてのろうけつ染め」を、また料理教室に「骨粗鬆症予防のための食事」と「黒ゴマ入り豆腐の製造 牛乳紙パックを利用して」を、各コーナーで実演、実習を行いました。

消費者問題研究所からは視聴覚コーナーに「食生活テーマのビデオ啓発」を出展し、短期大学部からは、情報工房に「パソコンで遊

生活文化学科からは四つの出展となりましたが、「古いワイシャツを用いてのろうけつ染め」はモノを大切に、楽しめるリサイクルということでも参加者も多く好評でした。

「骨密度測定」「骨粗鬆症予防のための食事」「黒ゴマ入り豆腐の製造」の三つは、今回のテーマ「未来のためにできること」の一つとして「健康増進」を掲げ、特に日本人のカルシウム不足を問題点として取り上げました。これにも参加する人もあり、このような企画を楽しみにしているという声を聞くことができました。

消費生活展の楽田ふれあいセンターでの開催は今回が初めてでしたが、出展者のわれわれが得るものも多く、改めて地域交流の大切さを感じた一日でした。

長島 万弓

（短期大学部生活文化学科助教）



## 園児といっしょに「いちむらっこまつり」

昨年十二月十三日、市邨学園幼稚園で第一回「いちむらっこまつり」が行われました。

「人権」「環境」「生命倫理」は人類に共通する大切な課題です。短期大学部保育科の一年生は、これらのテーマを実際の保育の場でどのように子どもたちに伝え、どのようにして子どもといっしょに考えていけばいいのかを学習しています。

「いちむらっこまつり」は、それらのテーマに関連して学生たちが考案した教材や保育活動を園児の前で発表するため企画されました。

「牛乳パックなどの廃紙を利用した紙漉き」「ハンディキャップをもつ人への援



助体験」「命の尊さ、物の大切さ、ゴミ問題を題材にしたペープサートや人形劇」「ゴミの分別ゲーム」「災害への備えを題材にしたクイズ」「リサイクル品を使った手作り楽器」など、各ゼミは、あらかじめ割り当てられた園児のクラスで発表しました。

子どもたちの真剣なまなざし、歓声、とまどい、混乱もありました。この予想とは違う反応にとまどい、四苦八苦する場面も見られました。楽しかった、準備が足りなかった、ちょっと難しかったのかなあ…。子どもたちの表情もさまざまでした。

幼稚園の先生からは、内容の評価とともに子どもと接するときの目線が全体的に高かったこと、説明の言葉が少し難しかったことなど反省しなければならぬと皆さんのポイントを指摘していただきました。

後日、園児の保護者から感謝の手紙が寄せられました。ハンディキャップを疑似体験した子どもと親との会話を学生は励まされました。

「気づいてもらう、わかってもらう」ことの重要さと難しさを思い知らされました。今後の幼稚園・保育所実習につながる大きな経験になりました。

寺田 泰人

（短期大学部保育科助教）



# 田中収先生 最終講義「私の思想史」



田中収法学部教授が三月末で退任されます。田中先生のお人柄については、三十年以上昔の名古屋大学時代からすでにお聞きしていたが、本学に赴任してから、想像をはるかに超える巨人であることを認識させられました。私が先生と一緒する会議は、大学・短大連絡会議と教授会にすぎなかったが、その鋭い洞察力、すばやい判断、そして驚くべき記憶力によって、数えることができないほどの多くの叱正とご援助を頂きました。田中先生ほどに、学生を思い、市邨学園と大学の将来に思いを寄せた方を他に知りません。

新美 治一（法学部長）

平成十四年十二月十二日に行われた田中収教授の最終講義の要旨を紹介します

今日は、私がどんな思想によってどんな生き方を求めてきたか、その思想形成の歴史を語りたい。私が旧制高校に入ったとき影響を受けたのは河合栄治郎の人格主義であった。金もつけや立身出世ではなく、真、善、美の全人格の完成が人生の理想である、これが、河合栄治郎の主張であった。私が自己の人格の完成にのり出そうとしたとき、その理想の追求をむざむざにも断ち切るようになったのは、高校二年のとき徴兵延期がなくなり、軍隊に入らねばならなくなることである。軍隊に入ることには戦場での死を覚悟せねばならなかった。

何ゆえ、国家は人の生命を奪いつるか、それは深刻な問題であったが、私が今日、法思想や政治思想にとり組んでいるのは、若い日につきつけられたこの問題を解くためなのである。

昭和二十年四月、軍隊にいる間に大学に進学し、敗戦によって復学した。敗戦の虚脱状態にあった私を力強く励ましたのは、昭和二十年十一月、帰還学生歓迎会の南原繁学部長の演説であり、これからの戦は剣と砲火の戦ではなく、理性と良心の戦であり、この戦いに断じて勝利せねばならぬという

趣旨であった。

大学を出て労働省に入ったが勤務の無理がたたり、郷里の豊橋でまる七年の入院生活を送った。この生活を支えたのはキリスト教の信仰であり、長い苦しい療養の体験から、私は単なる人格主義を脱した。人格主義は個人の人格を最も高価値とするが、個人を超えた神の生命と愛に生きるのである。真の人生を送ることが出来るのである。病気が治って、新制大学の大学

## めいけい点描

七 五 R g X g

「天下の珍祭」 電車通学の学生たちがいつも見ている駅前の看板です。アメリカの雑誌にまで紹介されたという田縣（たが）がた）神社の豊年まつりは三月十五日に行われます。

長さ二メートル余の男性のシンボルをかついで氏子たちが練り歩く。参拝者は手で触れ、頬ずりする。「良い子が授かりますように」。祭りが終わると本殿に飾られ、年が変わると、ひのきを用材にして新しく作られます。

田縣神社は小牧市ですが、三

院に入り直し、M・ウェーバーの思想を知った。ウェーバーは、インドや中国では政治や経済の合理化が阻止されたとしているが、私はアジアの特質をもちながら、アジアの思想にも歴史的發展を見ねばならないと考え、インドを中心に比較思想の研究をつづけている。

私は世界の中で、アジアの一員として、平和と自由平等と生活の向上のための思想を、きずきあげたいと思う。

キロメートル先の大縣（おおあがた）神社は犬山市域です。こちらの豊年祭（三月九日）には氏子が女性のシンボルの神輿をかつぎます。大縣神社は尾張二の宮ともいわれ、格式の高さを誇っています。



- ハ一 名高い姫の宮まつり
- 二ツ 二の宮 三ツみかん
- 春は蝶々に、ひばりまで
- 祭り恋しと飛んで来る（後略）

何がとりなす縁か、名古屋経済大学はオトコの神社とオンナの神社を結ぶほぼ中間地点に位置しています。

# 自分の情報は自分で守る

情報センター開設から2年

「情報社会としての大学」の実現を目指した情報センターの開設、そして本学総合情報システム（MELoS）が稼働して二年になりました。MELoSには、入学時から履修・成績・就職活動などに必要な情報を集約し、学内に設置されたパソコンで利用することができます。情報センターの二階には百十四台のパソコン、二十二台のプリンタ、八台のスキヤナを備え、昨年度二台、今年度に二台のマルチランゲージ仕様のパソコンを設置し、本学に学ぶ留学生にも配慮しました。

## パソコンを前に一喜一憂

センター二階では学生が自由に使用でき、利用者数が増えています。スタート時は教員が直接指導し、履修登録を行ってききましたが、本年度から在学生自身で登録をする姿が多くなっています。また、成績発表の時期になると、情報センターを開くとすぐに利用する学生が多く、一喜一憂している姿も見かけます。それだけ総合情報システムに自分の必要な情報があることが分かってきたように思われます。

また、インターネットを見なが

らレポートを作成している姿も見受け、ネットワーク利用が有用であることが分かってきたのではないかと思います。

## 利用者のマナー

利用の増加につれ、ごく一部ですが、学生証を忘れたり、情報を利用するために重要な認証キーとなるパスワードを忘れる学生もありません。自分の情報は自分で守るという基本的なセキュリティポリシーをより高めてもらいたいと思います。

情報センターでは

館内へは飲食物を持ち込まない。館内では静粛にし、他の人の迷惑になることをやめる。

館内の掲示や係員の指示に注意し、不明なことは尋ねる。

など六項目の利用マナーを定めています。すべて共同で使う機器、施設なので、後で使う人に迷惑をかけないように、十分心がけてください。

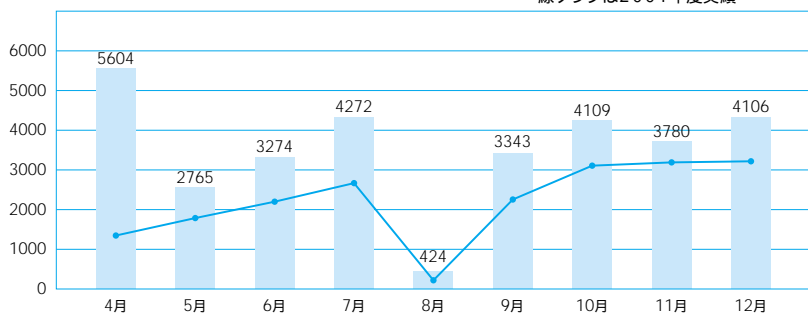
## 個人差が目立つ

学生と個々に話をすると、興味を示し、情報処理やパソコンの話に耳を傾けてくれます。ネットワ

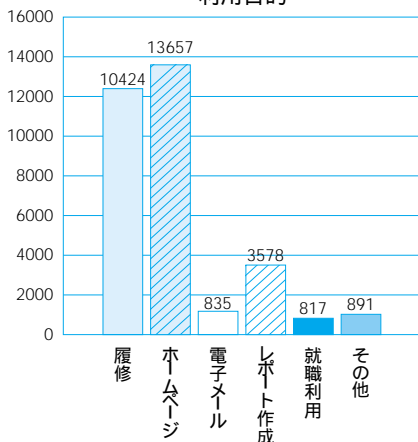
ーク利用のメリットなどの説明に理解してくれる人もいます。パソコンに不慣れた学生たちもいるようですが、恵まれた本学の施設を生かし、指導に努めれば、もっとスキルアップを期待できると思います。

情報社会の今日、実社会に出た時、パソコンを使用しない職場は考えにくく、情報処理機器を扱う

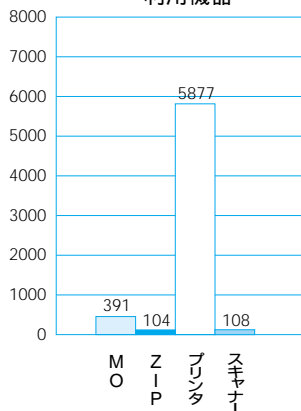
2002年度のパソコン利用者数(4月～12月)=情報センター  
線グラフは2001年度実績



利用目的



利用機器



技術、インターネットによる情報収集能力が求められます。小・中学校の時から情報処理教育を身につける状況にあり、情報社会に適應できるように、情報センターでは一層の教育環境の整備、援助を考えています。

横山 文規  
(情報センター副部長)

# ホームページを体験して

## リアルタイムで 情報を得る

WWW（ワールドワイドウェブ）が誕生して十数年が経過し、「世界中で情報の流れが変わった」と言えるのではないでしょう。世界は、世界の何処にいても、インターネット経由であらゆる情報にアクセスでき、また発信できます。以前では考えられない情報のスピード、まさにリアルタイムで世界中の情報を得ることができます。これをハイパー

## 私の最大の 交流の場に

私が初めてホームページを見たのは高校の時でした。情報処理科だった私には、インターネットをする機会がたくさんありました。



さまざまなホームページにさまざまな情報が載っているのだから、と驚かされました。そして、本当

リンクをたどるだけ、ただマウスのボタンをクリックする、という操作のみで簡単に誰でも行うことができます。WWWによる情報収集は今日ではあたり前ですが、あらためてその発想の斬新さには驚きます。

“日本で初めてのホームページ”を見てみると、当然の事ながら学術的なコンテンツ一色です。しかし、ここ数年の情報インフラの整備、コンピュータ環境のめざましい高性能化、低価格化により、このホームページの存在は普通の生

に便利だと思いました。知りたい情報がすぐに調べられ、今ではインターネットで買えるもののようになっています。私は調べものをする時には必ずといっていいほど利用しています。

私は最近、授業でホームページを作成しました。何か自分だけのスペースを持つよう非常に興味を感じました。まず、どのようなデザイン、色調、コンテンツにするか全体の構成を練り、そして、ホームページ作成言語であるHTMLを自分で書いていきました。ホームページ上を華やかにするた

活に根付きつつあります。

一方で我々の意識がまだまだ追いついていないのではないのでしょうか。インターネット社会には、さまざまな問題があります。ルールを知らずにインターネットに飛び込むと思われるトラブルに巻き込まれかねません。

本学では、今日の情報化社会における基礎的能力養成から高度なWebページ作りに至るまでさまざまなカリキュラムを用意しています。ネットワーク社会の持つ力を理解し、十分に活用できる学生

めに画像を色々なページから集めてこなければなりません。しかし、これには問題がありました。

ホームページ上にある画像は、ほとんどに著作権があり、無断で使用することができません。この時、ネチケット、特に著作権について学びました。やはり、一人一人の作品を尊重していく事が大事だということなのです。

私は、ホームページは最大の交流の場だと考えています。全国に住んでいるさまざまな人と話ができるということはすごい事で

を育成していきたいと考えています。

末岡 仁

（短期大学部商経科講師）



あると思います。意見交流をするという事もあれば、同じ趣味を持つもの同士で仲良くなったり、有名な人のホームページなら応援メッセージを送ったりする事もあります。新たな人々の交流の場という点で大きな力を持っていると私は思います。

ホームページを作り上げて、相手の顔は見えないけれど実生活と同じであることを考えさせられました。

村松 直紀

（短期大学部商経科一年）



# 感動! 歴史を知ろう 2・26事件の研究

## PROFILE



法学部OB 岩村貴文さん

1995年、名古屋経済大学法学部企業法学科卒業後、大信印刷(本社・名古屋市)入社。2000年、名古屋経済大学大学院法学研究科修士課程に入学、2002年修了。  
大学1年の時、行政書士試験に合格。2002年11月、社会保険労務士試験に合格。日本私法学会会員、軍事史学会会員。2002年4月、同学会関西支部研究会で「悲劇の将軍渡辺錠太郎」を共同報告。30歳。

## 法学部OB

### 岩村貴文さん

二月といえば「2・26事件」。2・26事件とは、今から六十七年前の一九三六年(昭和十一年)二月二十六日、国家改造を目指す陸

軍の青年将校らが兵士約一千五百人を引き連れて決起し、政府重臣らを暗殺したクーデター未遂事件です。  
「2・26事件」。岩村さんはそれを映画で見たのが動機となり、関連する研究を高校生の時に思い立ち、大学・大学院在学中も続け、ライフワークとしています。これまでの体験から、「若いうちに歴史に関心を持ったのがよかった。史料や文献を発掘する感動が忘れられない」と振り返っています。

軍の青年将校らが兵士約一千五百人を引き連れて決起し、政府重臣らを暗殺したクーデター未遂事件です。

私はこの事件で犠牲となった教育総監・渡辺錠太郎陸軍大将の研究をしています。高校二年生の時から研究を始め、今年で十三年になります。渡辺が郷土・小牧の生まれであったことから私は興味を持ち、今ではライフワークとなりました。

調べ始めた当時は、まとまった文献がありませんでした。それがかえって私にとっては幸いしました。未開地に初めに足を踏み入れたようなもので、新しい発見が次々とありました。

不思議なもので、「これが見たい」と思っていた史料や文献が自然に集まってきました。その感動が忘れられません。また、大学在学中

に小牧市文芸協会発行の「駒来」に「小牧の生んだ将軍 渡辺錠太郎伝」を十三回連載させていただきました。それらが励みとなり、研究を続ける大きな要因となっています。

この研究を通じて身についたことといえば「少しずつでも着実に続けること」でしょうか。よき理解者、よき協力者を多数得ることもできました。今後の課題としては、今まで一般的に触れられる機会が少なかった渡辺の思想を詳細に分析してまとめたいと考え、史料・文献の収集をしています。

私は大学卒業以来、小牧市内のパッケージ印刷の専門メーカーに勤務しています。経営者のご理解のもと、勤務と平行して名古屋経済大学大学院で勉学を終え、また社会保険労務士の資格を取得することもできました。

「機会が来たと感じたら実行してみる」「一つのこと集中する」と今までの成果につながっていると考えています。この方法は時間がかかり、効率がよいとはいえないかも知れませんが、しかし、確実性・実現可能性は十分あると思います。

方法は一度身につけると応用ができます。在学生の皆さん、焦らず着実に進んでいってください。

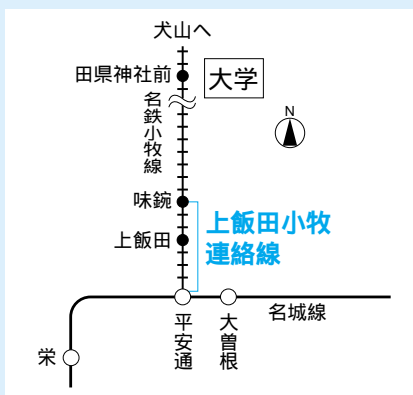
## 栄から30分台に

### 地下鉄上飯田線開通で

#### 通学便利

名古屋市方面から本学に電車通学する場合、名鉄犬山線と名鉄小牧線の二ルート(いずれも田原神社前駅で乗降)があります。このうち小牧線は地下鉄上飯田線開通により、三月二十七日から同地下鉄との相互乗り入れが始まるため、通学に大変便利になります。

これまででは、地下鉄平安通駅で下車し、上飯田まで約十分歩いていました。現在、小牧線は平日百五本が運行されていますが、地下鉄との相互乗り入れにより百四十五本に増えます。運転間隔はかなり短縮されます。





## 資格取得支援の講座 さらに充実

本学では、正課の授業とは別に、学生の皆さんの資格取得・スキルアップに役立つように、資格取得支援講座を開設しております。就職難といわれる今日の時代を乗り切るため、皆さんの武器となり得る各種資格、あるいは将来の夢をかなえるための一環として、実用的な講座を用意しています。資格は自己の能力を客観的に証明できる効果的なキャリアといえます。現役学生の間でも、将来自分の能力を生かした仕事に取り組みたいという気運が高まっており、資格の重要性は以前にも増して認知されております。

本学における資格取得支援講座は平成十三年度からスタートし、具体的には、パソコン関連（初級から上級まで各種）・日商簿記・小売商（販売士）・法学検定・行政書士・ファクション販売・色彩カラーコーディネーター）・語学関連（英仏独中）・公務員試験対策など多彩なメニューを用意しております。パソコン検定を筆頭として多数の合格者を出すことができました。

学内スタッフだけでなく、民間企業や専門学校などから実力のあつる講師陣をお招きして、最新の出題傾向に対応した実践的な内容の講義・実技指導を皆さんに提供しています。

資格取得支援講座の各種プログラムは、在学生の皆さんの就職活動と資格取得を大学側として積極的に支援しようとするものですが、資格講座運営委員会では卒業生および一般社会人の方々の資格取得にも役立つものにしていきたいと考えています。さらに科目の増加・合格率の向上に努めていく所存です。

お問い合わせは、就職部まで。

伊藤 幸男（経済学部教授）

## めいけい点描

MM > [ E . C C

7号館の大講義室から手にとるように尾張信貴山を眺めることができます。本宮山、尾張富士とつらなる、どの山も姿やさしく、高さは三百メートルほどかかない。キャンパスからこことこ歩いて、峠までは一時間三

## 自宅でも見られます 求人票検索

名経大生、短大生を対象にした「求人票」を、自宅にいながら見ることができるようになりました。その名も「J・NET求人票検索」。就職活動の強い味方がまた増えました。従来の学内情報システム（愛称メロス）の「求人照会」と併せて活用してください。

利用方法

(A) 学内からのアクセス  
学内アクセス専用URLで誰でも検索が可能です。

(B) 学外からのアクセス  
ユーザーIDとパスワードを入力すれば検索が可能です。  
検索内容  
このネット求人に登録している企業は現在約九千社ありますが、その中で本学の学生を対象とした求人票の「基本情報」「採用情報」「給与情報」「追加求人情報」を各項目別に見ることができます。

また、十三項目の検索項目（求人年度、業種、職種、所在地、勤務地、上場区分、採用条件、従業員数、採用学科など）が設定されており、複合検索によって自分の知りたい情報だけをタイムリーに入手することができます。

十分くらいです。

「信貴峠」と刻まれた標石は江戸時代のもので、見過ごしがちな小さな道しるべです。東西の方向を示す地名も摩耗し、「楽田」以外にはよく読めませんが、この舞台では唯一の小道具といえます。

峠から南を眺めると、かすみの中にぬつと立っているのは名古屋駅のセントラルタワーズ。左に桃花源の住宅群、右には名古屋経済大学の校舎が群立しています。大

空間を埋めている建造物も以前は何もなかったわけで、有為転変の激しさがしのばれます。

キャンパス周辺にモモ、カキ、ミカンが実り、果樹の間を縫って電車の音が風とともに乗ってきています。大学は地域の中に生まれ、地域とともに発展するのが理想です。



## バスケットボール部 一部リーグ昇格を目指す 男子チーム「Team Eagles」

バスケットボール部男子チームは、本学が共学、校名変更を行った一九八三年に創部され、同年東海学生バスケットボール連盟に加入し、現在に至っています。東海学生バスケットボール連盟は、愛知県、静岡県、岐阜県、三重県の四県の大学で組織しており、男子四十四チーム、女子二十八チームが加盟しています。

加入当初の連盟は五部リーグ制を組み、新加入した本学男子チームは五部からスタートすることになりました。創部以来、すでに二十年が過ぎようとしています。この間に、OBの方やボランティアで指導していただいた元日本リーグ選手など、多くの方々に支えられて、現在では二部リーグに所属しています。我がチームの出場する大会は、東海学生バスケットボール選手権大会（四月下旬～五月初旬）、西日本学生バスケットボール大会（五月下旬～六月初旬）、東海学生バスケットボールリーグ戦（八月）です。これに加えて、東海大会にも出場する予定を組んでいます。



現在は、大学の年間行事との日程調整がつかず、強化合宿を組むことが難しいのが悩みのタネです。しかし、メンバーには日頃の練習を大切にして活動すること、またシーズンを考えて必ず体調を整えるよう指導しています。

クラブ活動は、自らが計画し、無理なく実践していくことをねらいとし、一部リーグ昇格を第一目標に掲げ、それを達成するために個として果たせる役割を自らが考え、自主的に実行できるチームづくりを目指しております。

吉澤 洋二

（経営学部助教）

## 児童文化研究会 活動・発表の喜びを持つ

短期大学部には歴史のある部として「児童文化研究会」があった。「あった」と過去形にしたが、形の上では現在も存在する。昨春の入学生が、二年ぶりに再結成を届け出たからだ。

児童文化研究会の創立時のことについて詳細は不明だが、これまで保育科の学生を中心に主に入形劇の上演などの活動をしてきた。今も「児童文化研究会コロポックル」などいくつかの宛先でダイレクトメールが届くので、おそらくはさまざまなグループ名で入形劇の上演活動を行ってきたのだろう。一時期は活発に活動されたようで、どこかの市からの感謝状なども残されているくらいだ。

一般に、保育科のある大学のみならず、多くの大学には児童文化研究会がある。それらは、子ども会活動の手助けをしたり、入形劇などの上演活動をしたりしている。だが、こうした活動は一朝一夕にはできない。華やかに見える公演活動にしても、脚本づくりや入形作り、そして公演時間の何十倍もの地味な練習を繰り返さなければならぬ。そうした苦労にもかかわらず、

ならず、十年くらい前までは細々ながらも活動が続けられていた。だが、保育科学生が多忙化したせいか、ここしばらくは休部状態が続いた。

私が顧問としてかわった最後の活動は、アングラ劇団の活動拠点で有名な名古屋大須の七ツ寺共同スタジオでの公演であった。その児童文化研究会が、一年前に欠々に復活し、なんと紙芝居コンクールで入選を果たし、賞金と副賞は部員たちで山分けしたというのだ。だが、残念ながら、そのあとを継ぐものがなかなか出てこない。

自治会活動を含め、短大全体の部活動そのものが、以前に比べ寂しくなっている。声を大きくして「過去の繁栄を再び」と叫ぶつもりはないが、自分たちで何かひとつの作品に取り組み、それを子どもたちの前で発表することの喜びを学生たちに味わってほしい。苦労すること、こつこつと練習を積み上げていくことの苦しい現代の学生たちではあるが、だからこそ子どもたちの笑顔や歓声をぜひ多くの学生に直かに感じて欲しいと思う。

川勝 泰介

（短期大学部 保育科教員）



# 高森山のドングリ作戦 わが町の緑化活動30周年

春日井市高蔵寺ニュータウン（人口五万二千人）の中の里山、高森山は、昭和四十三年に入居が始まった頃には、乱伐、伊勢湾台風の被害、山火事などですっかり緑が失われていました。

当時の藤山台小学校長、伊藤浩氏の提唱により、子どもと親と住民の手で山の緑をとりもどすために昭和四十七年十一月四日に行われたのがドングリ作戦でした。この日に集めておいたドングリを小、中学生、PTA、老人会、町内会自治会など、約五百人が集まって、山頂から中腹にまきました。翌年三月、子どもと親と住民の手で肥料植物のヤシヤブシを山に植えた



筆者(左)と岡本教授

のをきっかけに、ドングリ作戦に参加した諸団体によって「高森山の緑を育てる会」が発足し、この会は昭和五十年六月に「高蔵寺ニュータウン緑を育てる会」に発展しました。

昭和四十三年六月からニュータウンに住んでいた私は、この頃から副会長をつとめ、昭和五十四年からここに住むようになった本学経営学部の岡本秀昭教授も昭和十五年からは「育てる会」の役員に参加しました。

平成五年九月からは、私は会長、岡本教授は副会長としてこの会の活動に参加しています。この会は、緑化思想の啓発ということでも年一回の写生大会と自然写真コンクールのほか、講演会や高森山の清掃整備の活動を行い、昨年三十周年を迎えました。

最近では、大学教員には研究だけでなく、教育や地域社会への貢献が求められるています。私たちは、自分の住む地域の環境をよくする活動に参加していることに大きな意義があると考えています。

田中収（法学部教授）

## 青少年をとりまく情報社会 シンポの講師に

生徒の健全育成と非行防止を図るには、学校、家庭、地域社会が一体となり地域連携のもとに生徒指導を推進する必要があります。この考えのもとに、名古屋市内の南地域に所在する公私立の中・高など百十六校で組織された「名南地域連携生徒指導推進委員会」が主催した平成十四年度「名南地域連携生徒指導推進地域フォーラム」が平成十四年十一月二十九日にサン笠寺で関係者約二百名が参加して開催されました。

今回この中で「情報社会における青少年の諸問題 青少年の健全育成をめざして」というテーマでシンポジウムが開かれ、私「写真」を含め三人の専門家がそれぞれの観点からこの課題に関する講演を行いました。

まず最初に、(財)インターネット協会の太田俊史主幹研究員が、インターネットの現状と問題点を具体的な事例を織り交ぜ、さらに防止策な



どを話しました。次に、NTTドコモ東海営業本部の荻野衛部長が、携帯電話の現状と問題点を最新のデータに基づいて話しました。

最後に、私が情報社会の現状と問題点について、情報社会を形成する仮想世界と現実世界との関連を通して考える必要があると話しました。

大学の持つ専門性を地域社会に役立てる一環として今後取り組んで行きたいと考えています。

柴田良一（経営学部教授）

# 八百津高校、恒例の見学会

岐阜県立八百津高校の一年生三十五人が、平成十四年十二月六日、本学の見学会に訪れました。

同高校は毎年この時期に、生徒の進路意識の高揚と大学・短大に関する知識と理解を深めるために本学を来訪しています。この日は学部・学科の内容などの説明を受けた後、情報センターでインターネットを楽しみました。

さすがに最近の高校生はパソコンの扱いにも慣れていよう、テーマパークなどのホームページを開き、見入っていました。その後、コミュニケーションプラザなどを見学しました。どの生徒もキャンパスの広さ、施設の充実ぶりに感動した様子でした。



短期大学部現代コミュニケーション学科 家接哲次講師

## 公開講演会「自己理解のための心理学」



平成十四年十二月二十日、本学において人文科学研究会と幼児教育研究会の共催で、短期大学部現代コミュニケーション学科学科家接哲次講師いえつぐの公開講演会が開催されました。「自己理解のための心理学」をテーマにした講演にパワーポイントを活用した映像が加わり、三百六十名の学生、市民が熱心に聞き入りました。

前半は、「心理テストを使って自己理解を深めよう」という趣旨で参加者全員が心理テスト（エングラム）の写真を、左下を試み、その説明を受けました。明らかにされる自分の性格。さまざまなパターンの性格が紹介され、自分の性格を言い当てられるかのような講師の解説に参加者からは感嘆の声があがりました。

後半は、「何のために自己理解をするのか」という視点から、心理療法の一つである「箱庭療法」の写真を、右上について解説が行われました。箱庭の構成に現れるその時の心理状態。実例をもとに、この箱庭療法を繰り返しながら自尊心が高まり、抑うつ傾向が改善されていく過程を心理テストのデータとともに参加者は理解することができました。

「自分の弱点を克服するには」との課題について、目標を立て最後まで努力する、相手の気持ちになって考える、常に物事を分析する、趣味や娯楽を楽しむ、相手の意見を大切にすると、という五項目の助言が家接講師から出されました。自己理解が深まることにより、今持っている自分の問題の解決に結びつき、それが精神的健康度の高揚につながるという結論に、参加者は改めて自己を見つめ直す様子でした。



### 卒業式・入学式日程

#### 卒業式

三月十八日（火）  
午前十一時 市邨記念体育館

大学・短期大学部卒業式  
大学院修了式の合同

#### 入学式

四月一日（火）

午前十一時三十分、市邨記念体育館

大学・短期大学部入学式

午後一時、講堂（1C6）

大学院入学式

### 学生の健康診断

必ず受診を

平成十五年度の健康診断を次の通り本学体育館で行います。学校保健法により学生全員が受診するよう定められています。

四月三日（木）

大学一年

短期大学部一・二年

四月四日（金）

大学二・四年

当日受診できない人は病院または保健所まで行き、自己負担（七千円程度）での受診となります。

健康診断に関する相談、質問は医務室で受け付けています。